

糖尿病対策専門委員会

(令和元年度)

糖尿病対策専門委員会報告書

広島県地域保健対策協議会 糖尿病対策専門委員会

委員長 米田 真康

I. 年間活動概要

(1) 糖尿病医療連携体制 2019年度について、(2) 糖尿病医療連携体制 2020年度に向けて、そして、(3) その他：「糖尿病性腎症重症化予防事業」について、の主に3点に関して、下記の日程で協議した。

第1回：2020年1月21日（火）

(1) 糖尿病医療連携体制 2019年度について

①「糖尿病診療拠点病院」および「糖尿病診療中核病院」の指定

二次保健医療圏域（広島、広島西、呉、広島中央、尾三、福山・府中、備北）毎に、少なくとも1つ以上の糖尿病医療連携の中心を担う医療機関を設置する目的で、広島県糖尿病診療拠点病院等指定要綱を定め、広島県知事の認定により、2018年4月1日付で糖尿病診療拠点病院として県内8医療機関、糖尿病診療中核病院として9医療機関を指定している。2019年度においては新規追加や変更はなく、2018年

度と同じ医療機関の指定を継続とした。なお、拠点病院・中核病院の一覧は下記の図表の如く広島県のHPで公開している。

②各地域における糖尿病医療連携と糖尿病医療連携パス

現在、安佐地区、広島県西部地区（廿日市）では、それぞれ安佐市民病院（松田委員）、JA広島総合病院（石田委員）を中心として、周辺の医療機関と循環型医療連携パスを活用した地域連携体制を構築している。尾道地区と呉地区においても以前に糖尿病医療連携パスを作成したが、現在は連携パスを積極的には用いず、各病院にて独自の方法で医療連携を行っている。

糖尿病医療連携パスを作成していない他の地域の参考となるように、上記の4地区の連携パスを委員会で情報共有することにした。

③各関係団体の糖尿病に対する取り組み

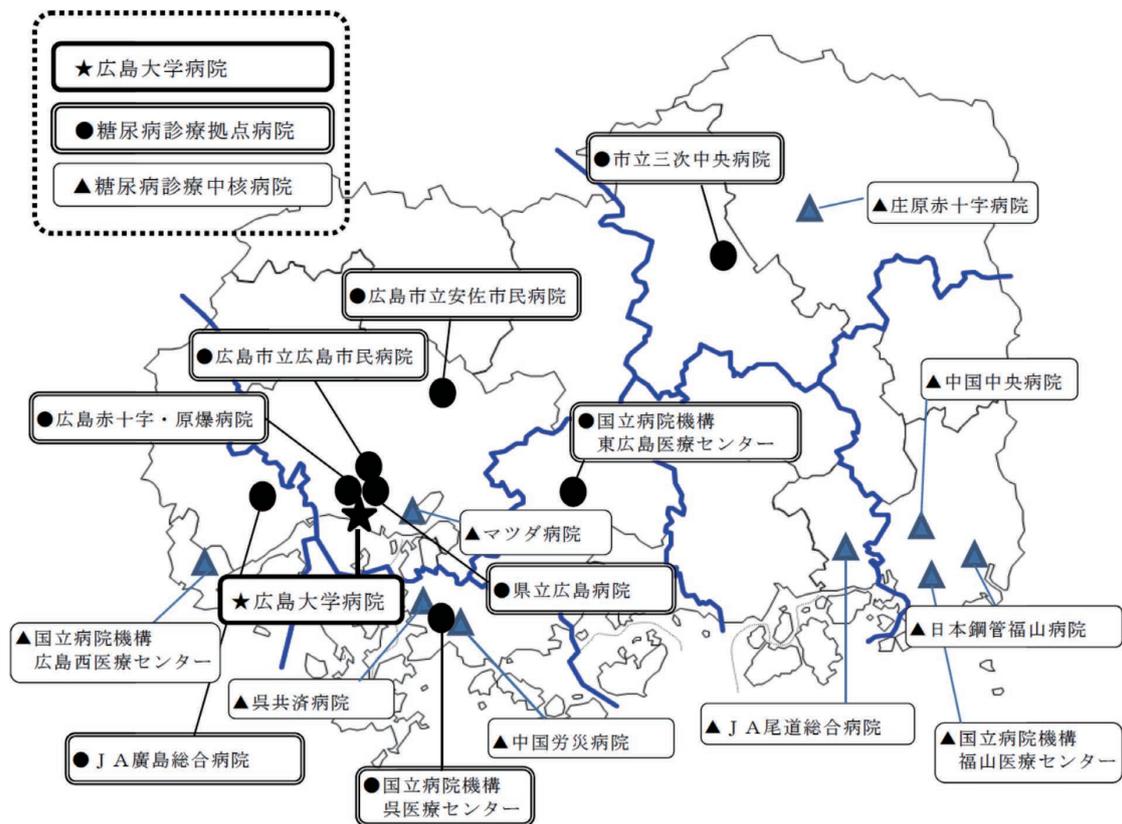
広島県歯科医師会（山中委員）からは広島県ではまだまだ糖尿病医療の医科歯科連携が十分ではなく、引き続き今後の課題だとの指摘があった。広島県葉

(広島県保健医療計画)

4 糖尿病の医療連携体制 ※県医療機能調査による。(基準日:平成29年12月1日)

健康福祉局地域包括ケア・高齢者支援課
平成31(2019)年2月1日現在

二次保健医療圏	医療機関等の名称	所在市区町	初期・安定期治療		教育治療	専門治療	急性増悪時治療	慢性合併症治療					
			初期	安定期				網膜症	腎症	神経障害	冠動脈疾患	足潰瘍	歯周病
広島	広島市立広島市民病院	広島市中区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	広島赤十字・原爆病院	広島市中区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	広島大学病院	広島市南区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	県立広島病院	広島市南区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	広島市立安佐市民病院	広島市安佐北区	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	マツダ株式会社 マツダ病院	府中町	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広島西	国立病院機構 広島西医療センター	大竹市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	JA広島総合病院	廿日市市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
呉	労働者健康安全機構 中国労災病院	呉市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国立病院機構 呉医療センター	呉市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国家公務員共済連 呉共済病院	呉市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広島中央	国立病院機構 東広島医療センター	東広島市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
尾三	JA尾道総合病院	尾道市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
福山・府中	国立病院機構 福山医療センター	福山市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	日本鋼管福山病院	福山市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	公立学校共済組合 中国中央病院	福山市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
備北	市立三次中央病院	三次市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	総合病院 庄原赤十字病院	庄原市	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	



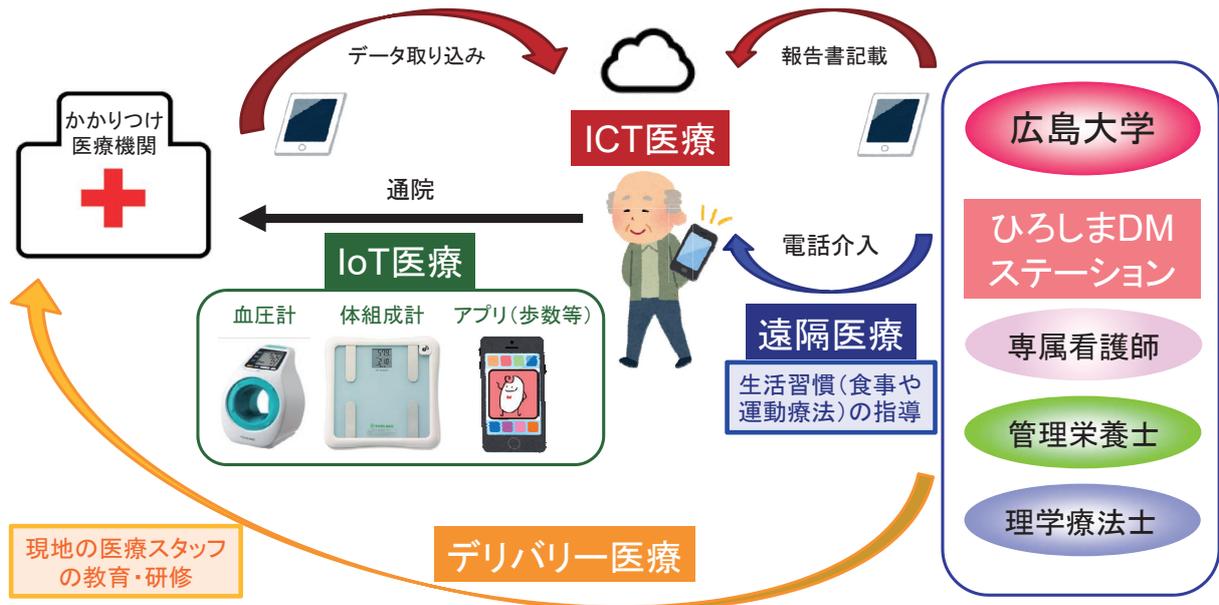
剤師会（吉田委員）では全国健康保険協会広島支部との保険薬局による糖尿病重症化予防事業を行っており、服薬指導を実施している。広島県看護協会（中元委員）では各地区や病院で開催される糖尿病患者に対するイベントに出来るだけ看護師が参加している。広島県栄養士会（沼尾委員）では「栄養ケアステーション」を立ち上げ、栄養士がいない場所へ地域の栄養士を派遣する体制を設けているが、糖尿病患者に対する食事指導目的で医療機関へ派遣するケースは現在まだ多くない、と報告があった。

(2) 糖尿病医療連携体制 2020年度に向けて糖尿病医療連携の中心を担うべき糖尿病診療拠点病院や中核病院の存在しない地域（糖尿病医療過疎地域）が県東部や山間部、島しょ部に散在している。2019年8月、広島大学に「ひろしまDMステーション」が設立され、専属の看護師、管理栄養士、理学療法士が所属している。IoTやICTを活用した独自のネットワークシステムを構築し、広島県地域医療

介護総合確保事業の補助を受けながら糖尿病医療過疎地域において非専門の医療機関に通院する糖尿病患者に生活習慣（食事や運動療法）の遠隔指導を実施する予定である。また、現地の医療機関を定期的に訪問して医療スタッフに糖尿病に関する教育を行い、療養指導のレベルアップを目指す。2020年4月より、安芸太田町、三原市、府中市の3カ所の医療機関にて開始する計画である。

(3) その他：「糖尿病性腎症重症化予防事業」について

広島県（今岡委員）より、平成29年度、30年度の糖尿病性腎症重症化予防事業について各市町における結果のまとめおよび課題が報告された。市町の保健指導への参加を増やすため、また、データを収集する市町の回収率を上げるため、かかりつけ医療機関へデータ返信用の封筒を配布するなど、次年度に向けての取り組み案が報告された。



広島県地域保健対策協議会 糖尿病対策専門委員会

委員長	米田 真康	広島大学大学院医系科学研究科糖尿病・生活習慣病予防医学
委員	石田 和史	J A広島総合病院
	今岡 寛之	広島県健康福祉局地域包括ケア・高齢者支援課
	太田 逸朗	広島西医療センター
	大本 崇	広島県医師会
	岡村 緑	呉共済病院
	亀井 望	広島赤十字・原爆病院
	國田 哲子	広島県医師会
	久保田益亘	呉医療センター・中国がんセンター
	小出 純子	東広島医療センター
	杉廣 貴史	市立三次中央病院
	東儀 宣哲	三原市医師会
	中島浩一郎	庄原赤十字病院
	中元 美恵	広島県看護協会
	沼尾 雄一	広島県栄養士会
	箱田 知美	日本鋼管福山病院
	久岡 桂子	広島市健康福祉局保健部健康推進課
	日野 文明	J A尾道総合病院
	平田 教至	福山市医師会
	藤川 るみ	グランドタワーメディカルコート
	槇田 隆二	東広島地区医師会
	松田 亜華	広島市立安佐市民病院
	水木 一仁	広島市立広島市民病院
	望月 久義	県立広島病院
	山中 史教	広島県歯科医師会
	山根 公則	N T T西日本中国健康管理センタ
	吉田亜賀子	広島県薬剤師会